

平成24年6月 全国百貨店売上高概況

平成24年7月19日

I. 概況

1. 売上高総額	4,829億円余
2. 前年同月比	-1.2% (店舗数調整後/2か月連続マイナス)
3. 調査対象百貨店	86社 249店 (平成24年5月対比±0店)
4. 総店舗面積	6,293,312㎡ (前年同月比:-1.9%)
5. 総従業員数	85,521人 (前年同月比:-5.3%)
6. 3か月移動平均値	11-1月 -0.6%、12-2月 -0.1%、1-3月 4.0%、 2-4月 5.1%、3-5月 4.7%、4-6月 -0.3%

[参考] 平成23年6月の売上高増減率は0.3% (店舗数調整後)

【6月売上の特徴】

2か月連続の前年同月比マイナスとなった。

6月は、平年に比べて梅雨入り後の降雨量が多かったことや台風4号の上陸、更には全国的に気温が低めに推移したことなど、不安定な天候が入店客数と主力の夏物衣料(衣料品:-2.7%)の売行きに影響して、前年実績を僅かに下回る結果となった。

一方、高級時計・宝飾品・輸入特選雑貨等の高額商材(美・宝・貴:+3.1%)、改装効果のあった化粧品(+2.7%)、肉食志向を背景とした惣菜(+3.5%)などが好調に推移したほか、父の日商戦や中元の早期受注も堅調であったが、総売上をプラス転換するまでには至らなかった。

その他具体的な要因としては、昨年復興需要で大きく伸ばした反動から仙台(-1.3%)と東北(-0.7%)が共に2か月連続で微減となったこと、福岡地区(+0.8%)が47か月ぶりに前年同月比プラスとなったこと、主力店の改装効果で名古屋(+3.8%)が活況であったこと、外国人売上(+31.1%)が引き続き着実な回復傾向を示していること、等が報告されている。

なお、今年上半期(1月-6月)累計伸び率は1.8%と、07年以来5年ぶりにプラスとなった。

【要因】

(1) 天候：気象庁発表「6月の天候」の特徴は以下のとおり(一部抜粋)

◇ 活発な梅雨前線や台風4号の影響で西日本を中心に降水量がかなり多かった。一方、北に偏った高気圧が覆ったため、北・東日本の日本海側では降水量が少なかった。気温は北日本を除いて平年より低めに推移した。

(2) 営業日数増減 29.9日(前年同月比±0.0日)

(3) 土・日・祝日の合計 9日(" +1日/土曜1日増)

(4) 入店客数増減(回答店舗数で見る傾向値/前年同月比)

①増加した:34店、②変化なし:34店、③減少した:62店、④不明:40店

(5) 6月歳時記(中元、父の日)の売上(同上)

①増加した:35店、②変化なし:36店、③減少した:47店、④不明:52店

(6) 翌月売上見通し(回答店舗数で見る傾向値)

①増加する:16店、②変化なし:83店、③減少する:24店、④不明:47店

全国百貨店 売上高速報 2012年06月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 ()が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比 (%)	対前年増減(-)率 (%) ※
全国	482,991,169	100.0	-1.2 (-2.0)
10都市	316,875,333	65.6	-0.7 (-1.2)
札幌	11,502,401	2.4	-0.6
仙台	6,702,801	1.4	-1.3
東京	124,975,044	25.9	-0.1 (-0.8)
横浜	29,518,099	6.1	-1.2
名古屋	28,218,088	5.8	3.8
京都	18,366,420	3.8	0.1
大阪	59,599,277	12.3	-4.2
神戸	12,927,559	2.7	1.0 (-3.5)
広島	11,005,215	2.3	-3.1
福岡	14,060,429	2.9	0.8
10都市以外の地区	166,115,836	34.4	-2.0 (-3.5)
北海道	2,701,259	0.6	-4.1
東北	8,541,598	1.8	-0.7
関東	81,687,448	16.9	-2.6 (-4.7)
中部	12,423,604	2.6	-5.4
近畿	16,860,384	3.5	-2.2
中国	11,875,386	2.5	-0.5
四国	8,463,391	1.8	0.1
九州	23,562,766	4.9	0.0 (-2.7)

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比 (%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	482,991,169	100.0	-1.2 (-2.0)
紳士服・洋品	34,719,123	7.2	-3.6 (-4.2)
婦人服・洋品	99,874,240	20.7	-2.3 (-3.1)
子供服・洋品	9,071,622	1.9	-1.6 (-3.4)
その他衣料品	12,141,001	2.5	-4.2 (-4.7)
衣 料 品	155,805,986	32.3	-2.7 (-3.5)
身のまわり品	58,757,175	12.2	-0.2 (-1.8)
化粧品	26,578,892	5.5	2.7 (2.2)
美術・宝飾・貴金属	24,873,691	5.1	3.1 (2.6)
その他雑貨	17,874,949	3.7	-6.8 (-7.1)
雑 貨	69,327,532	14.4	0.2 (-0.3)
家具	6,292,328	1.3	2.1 (1.8)
家電	1,902,127	0.4	12.8 (12.7)
その他家庭用品	15,526,582	3.2	-5.7 (-6.6)
家 庭 用 品	23,721,037	4.9	-2.4 (-3.1)
生鮮食品	31,350,603	6.5	-2.7 (-3.4)
菓子	35,486,921	7.3	0.9 (0.2)
惣菜	29,045,211	6.0	3.5 (2.9)
その他食料品	49,950,279	10.3	-2.4 (-3.0)
食 料 品	145,833,014	30.2	-0.5 (-1.2)
食堂喫茶	13,918,345	2.9	-1.4 (-1.8)
サービス	5,457,447	1.1	7.6 (6.6)
その他	10,170,633	2.1	-2.4 (-3.6)
商 品 券	21,073,949	4.4	-11.0 (-11.6)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

Ⅱ. 地区別の動き

- | | |
|------------------|----------------------------|
| 1. 10都市売上動向 | -0.7% (店舗数調整後 / 2か月連続マイナス) |
| 2. 10都市以外の地区売上動向 | -2.0% (" / 3か月連続マイナス) |

【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比	寄与度	トレンド
10都市	-0.7	-0.5	2か月連続マイナス
札幌	-0.6	0.0	3か月連続マイナス
仙台	-1.3	0.0	2か月連続マイナス
東京	-0.1	0.0	4か月ぶりマイナス
横浜	-1.2	-0.1	2か月連続マイナス
名古屋	3.8	0.2	2か月ぶりプラス
京都	0.1	0.0	2か月ぶりプラス
大阪	-4.2	-0.5	3か月連続マイナス
神戸	1.0	0.0	2か月連続プラス
広島	-3.1	-0.1	3か月連続マイナス
福岡	0.8	0.0	47か月ぶりプラス
10都市以外の地区	-2.0	-0.7	3か月連続マイナス
北海道	-4.1	0.0	3か月連続マイナス*
東北	-0.7	0.0	2か月連続マイナス*
関東	-2.6	-0.4	3か月連続マイナス
中部	-5.4	-0.1	3か月連続マイナス
近畿	-2.2	-0.1	3か月連続マイナス
中国	-0.5	0.0	3か月連続マイナス*
四国	0.1	0.0	2か月ぶりプラス
九州	0.0	0.0	4か月連続プラス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行したため(2005年までは6大都市)、連続性の観点から2007年1月からのトレンドとした。

Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目では、雑貨が5か月連続のプラス。マイナスは衣料品、身のまわり品、家庭用品、食料品。また、化粧品、家電が5か月連続、美術・宝飾・貴金属が8か月連続のプラス、惣菜が2か月ぶり、菓子が3か月ぶり、家具が11か月ぶりにプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-1.2	-	2か月連続マイナス
紳士服・洋品	-3.6	-0.3	2か月連続マイナス
婦人服・洋品	-2.3	-0.5	2か月連続マイナス
子供服・洋品	-1.6	0.0	3か月連続マイナス
その他衣料品	-4.2	-0.1	3か月連続マイナス
衣料品	-2.7	-0.9	2か月連続マイナス
身のまわり品	-0.2	0.0	2か月連続マイナス
化粧品	2.7	0.1	5か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	3.1	0.2	8か月連続プラス*
その他雑貨	-6.8	-0.3	3か月連続マイナス*
雑貨	0.2	0.0	5か月連続プラス
家具	2.1	0.0	11か月ぶりプラス
家電	12.8	0.0	5か月連続プラス
その他家庭用品	-5.7	-0.2	3か月連続マイナス
家庭用品	-2.4	-0.1	2か月連続マイナス
生鮮食品	-2.7	-0.2	3か月連続マイナス*
菓子	0.9	0.1	3か月ぶりプラス*
惣菜	3.5	0.2	2か月ぶりプラス*
その他食料品	-2.4	-0.2	4か月ぶりマイナス*
食料品	-0.5	-0.2	3か月連続マイナス
食堂喫茶	-1.4	0.0	2か月連続マイナス
サービス	7.6	0.1	2か月ぶりプラス
その他	-2.4	-0.1	2か月連続マイナス
商品券	-11.0	-0.5	16か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化したため、2007年1月からのトレンド

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・佐藤・西田まで
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>